



小牧市民病院 第2 歯科口腔外科部長医師

藤 武智

歯と口の話



歯や口のケアは、虫歯や歯周病の予防だけでなく、全身の健康を保つためにもとても大切です。

健康に生活している時には気にならない口の中の疾患が、手術や抗がん剤治療、放射線治療などを受けた時に強い症状を出すことがあります。しばしば歯や口だけでなく身体全体へ影響を与えることがあります。身体への影響が大きい場合には、手術からの回復が遅れたり、抗がん剤治療や放射線治療を中断・延期しなければならなくなったりします。

口の中には細菌がいっぱい

口腔内には多くの細菌が存在します。特に歯の表面などに付着した汚れ（歯垢あるいはデンタルプラークと呼ばれています）1 mg中には1億個もの細菌が含まれており、これはほぼ糞便に匹敵する細菌数と言われています。この口腔内細菌は虫歯や歯周病の原因となるだけでなく、全身へ影響を与える感染症の原因となります。

口腔内細菌が及ぼす危険

全身麻酔での手術を受ける患者さんは、多くの場合、呼吸のためにチューブを口から気管へ挿入します。その際、口の中の汚れが気管に入る可能性があります。これによ

り口腔内細菌が気管や肺へ感染すると、重篤な肺炎などを引き起こしてしまいます。また術後しばらくチューブを挿入したまま過ごすと患者さんがいらつしやいます。この場合、チューブを伝って口腔内細菌が気管へ流れ込むことがあります。この場合も肺炎が起きてしまいます。

療も、患者さんの身体の状態を考慮して治療方針を決定する必要があります。そのため、主治医ともよく相談してください。

自分の歯が1本でもある場合は、しっかりとブラッシングを行いましょう。歯科治療が必要な部位がある場合は、早めにかかりつけ歯科を受診して治療を受けましょう。適合のよくない義歯を使っている場合は、義歯調整を受けましょう。保存することが困難な歯がある場合には抜歯が必要になるかもしれません。歯石除去などは口腔内細菌数を減少させる有効な治療です。これらを入院前または治療前に行っておくことで、効果的で安全な治療を受けることができます。

抗がん剤治療や放射線治療を受けている患者さんでは、治療の影響で免疫力（細菌に対する抵抗力）の低下が起これることがあります。

こういつたことに注意しても、時に歯や口のトラブルに悩まされる場合があります。その場合は全身状態に応じて必要であれば当科で治療を行います。

また骨髄移植などの移植治療を受ける患者さんの場合、一時的に免疫力を低下させることがあります。このような状態のときに口腔内細菌による感染症が生じると、治療の延期や中断だけでなく、時に命に関わる症状を引き起こすことがあります。

最後に...

歯や口のケアで大切なのは、症状が出てから治療を受けるのではなく、症状が出ないように自分自身でブラッシングをしつかり行い、強い症状が出る前に、かかりつけ歯科で治療を受けることです。

歯と口のケアはお早めに！

今後、手術や抗がん剤治療、放射線治療を受ける予定がある方は、歯や口のケアを始めましょう。ただし、歯や口のケアも歯科治

問合先 市民病院（☎76-4131）